

地方 通信



東北地方

青森縣下の自動車路の全 通

國立公園十和田への表玄關東北本線古間木より十和田鐵道三本木驛經由湖畔休屋に到る自動車道路は五月十二日全通した。湖畔の旅館も一齊に開業登山者殺到して十和田湖畔觀光の賑ひ驚くの外なき有様である

岩手縣林道の助成奏功す

岩手縣は十五年度の調査により林道網開

發の第一期計畫（十五年より向ふ十ヶ年）

に基いて一町步當り平均四百五十石以上の森林に對し林道を敷設するが從來の如く各町村に普遍的にやる方針を採らず優良なる森林に對し集中的に開設する計畫で、目下各町村に付き路線調査中だが決定後該當町村に工事費を割當て縣が設計して着工、同時に土木搬出の責任を負はせる。尙林道幅員は車道（幹線）二メートル半乃至三メートル半、木馬道一メートル半乃至二メートル、牛馬道二メートルと指示あり、この助成金は工事費の四割助成なので結局本年四十八萬七千九百二十圓の林道工事が出るわけである。

山形縣庄内の加茂隧道擴 張竣工を告ぐ

山形縣下一の漁港加茂港と鶴岡市を結ぶ縣道加茂線の加茂隧道擴張工事竣工式は春兩煙る二十二日盛大に執行された。

關東地方

茨城縣下園部大橋開通式 の舉行

茨城縣東茨城郡小川町地先改修中の園部川に工費一萬五千圓で昨秋架架橋工事中の園部大橋の竣工開通式は五月十四日盛大に舉行せられた。同橋は延長四十二米、幅員五米五十、躍進小川及び鹿島、行方へ通ずる要衝であり小川町は喜びに沸き立つた。

群馬縣下道路改良工事竣 工す

群馬、長野兩縣を結び甲、越への最短捷
路、且産業、軍事重要道路としてその開通
を待たる、縣道富山、野澤線道路改築工事
は縣境内山峠（海拔一、二三四メートル）
を基準に本縣側二千三百三十メートル、幅員
五、五メートル、長野側千五百メートル、
幅員四、五メートル、延長三千六百メー
トルを同時に着工、以來現場員人夫を督勵進
捗を見たが、落土のため手直し個所續出難
工を重ねた結果、群馬縣側は客月下旬竣功
長野側は未だ八パーセントの工程だが近
く工を終るので甲、越頗る近くなる。

群馬縣下桐生市の擴張鋪

装施工

桐生町計事業の錦町通りの擴張鋪装工事
は地元町民の反對運動も圓滿解決して五月
二十七日起工式を行つた。同工事は十四年
度から三ヶ年繼續で延長五百二十八メー
トル、幅員十八メートル、總工費三十一萬圓
で初年度分工事は延長百二十メートル、完

成すれば縣下第一の幅員を誇る堂々たる大
通りとなる譯である。

千葉縣下の慶の坂改修工

事進捗す

千葉縣海上郡豊岡村八木地内縣道千葉、
銚子線ノ慶の坂の改修工事は延長千三百
八十メートル、幅員七メートル、總工費三
萬圓を投じ銚子土木出張所で既に六分通り
進めたが、人手不足に加へ最近農繁期から
人夫の集まりが悪くやゝもすれば遅れ勝ち
といふので地元村に應援を求め毎日三十名
乃至四十名の義務的出勤を得るに至り、こ
の分では六月末迄に完工豫定通り七月初め
開通の見込みとなつた。同線最後に残され
た難工個所で勾配は現在八分の一乃至十分
の一が二十分の一となり急曲線も緩和され
慶の坂が一躍緩かな良道として出現する。

千葉縣下國道六號線の改

良工事の着手

千葉縣松戸町から土浦町に到る國道六號
線の改良鋪装工事は松戸町から施工に決し
内務省東京土木出張所常總國道改良事務所
が一日から松戸町公會堂に開設され内務技
手根上九一氏が着任二日から事務を開始し
た。所長は新京濱國道改良事務所長松村孫
治氏の兼任で近く松戸町に同事務所が新設
される。沿道民待望の産業軍事重要國道で
内務省が總工費四百十二萬圓、七ヶ年計畫
で施行せらるるが、本年度支出額は十萬圓
用員は事務員三名、技術員五名、人夫十名
で本年度中に一部の買収並に測量設計を完
了、明年度早々着工され、屈曲を直線路に
改良する計畫である。

北陸地方

福井縣林道三十ヶ所の開

設改良の施工

福井縣林務課では森林資源開發を助長す

る林道開設や改良工事の實施を急いで着々準備を進めてゐるが、本年度は通常豫算に盛り入れた時局對策林道事業費十萬圓をはじめ増産獎勵その他各種の出途によるものを合はせるや國縣費約二十五萬圓となり、これに地元負擔金を合せば事業費總額は卅萬圓以上に上る見込で、縣下各地からの施工希望申出は七、八十ヶ所に及んでゐる。縣では従來林道開設または改良の目標を主として森林の大きさを將來の便不便においてゐたのを改めて時局下にさし當り必要なバルブ用材の伐出しや木炭増産などに直接役立つ箇所を第一條件として考慮する施針をとつたため従來の集中主義から分散主義にかはり、大野、今立、丹生、南條および若狭地方を主として約三十ヶ所を施方するとに内定、豫算上の調査がほとんど終つて地元との具體的な打合せや國庫補助金交付申請手續きなどに入らうとしてゐる。これら林道の主要箇所はトラックの運行可能の程度、末梢部分でも牛馬車や手車が通れる

程度にするのを工事の標準としてをり、林道工事には用地費を要しないので工事費の一部が資材費にあてられるほかほとんど全部努力費としてその地元へ振り撒かれるから兩方が相まつて山村民を喜ばせるが、施工に努力關係を考慮して農閑期を狙ひ田の植附終了のころから着手するといはれて居る。

東山地方

岐阜縣關町の街路改良

岐阜縣武郡關町のメインストリート本町通り（縣道岐阜―富山線）の取擴め及び鋪裝工事は前年度において第一期工事を行ひ續いて本年度において第二期工事に移る豫定で設計中のところ、越美南線の踏切附近を陸橋にするといふ内務省の立體案と縣從來の平面案と設計上に意見の相違を見て工事は遅延されてゐたが、地元關町としては

縣の既定設計實施方を内務省に懇請した結果最近その諒解を得るに至つたので、いよ／＼工事は既定設計により第二期工事として榮町地内の丁字路から約四百メートルの歩擴めおよび鋪裝に乘出すこととなり五月早々着工となつたが、一方縣では本年度において岡町辻地内から西へ向つて約千五百メートルを四間巾に歩擴め鋪裝することとなり同時に着工することとなつた。

東海地方

愛知縣産業道路の大改修

愛知縣が昭和二年から二十八年計畫で斷行の六千萬圓道路改良事業は國道三路線三十里と府縣道三百五十六路線大改良で既に豐橋、福江間と名古屋、犬山間の兩線は完成し、豐橋、本郷線、蒲郡觀光海岸線等も工を進めてゐるが、何ぶん縣下を縱横に走る産業道路の改良なので各地から政治的運

動が行はれ、幾多の陳情道路をさきに改修するなど工事計畫が餘ほど變更された傾きもある。縣では三部制廢止に伴ふ善後措置に續く事業としてこの道路改良事業計畫の建直しを行ふことになり、名教道路、名古屋瀬戸線、名古屋長野線などの如き幹線道路からまづ着工する事になる模様である

近畿地方

滋賀縣道路網の整備

近藤新知事の初仕事として三十四萬五千餘圓にのぼる道路改良事業が實施されることになつた。これはかねて國庫補助申請中のもので三分の一の國庫補助があり縣費と地元寄附金をもつて着手されることになつてゐる。着手されるのは大津市尾花川湖岸道路の新設、近江神宮山手參道と市邊驛から八日市町境にわたる道路の改修と、米原跨線橋から神照村馬車道、大溝町勝野から

安曇町安曇川橋南詰、八日市大通から御園村飛行場までの三ヶ所の道路鋪裝で、道路新設改良事業費は十八萬九千圓、道路鋪裝費は十五萬六千圓である。尾花川湖岸道路は美保崎附近から尾花川埋立地をへて近江神宮表參道に結びつくもの、幅員十六メートルの大道路でその延長は一千メートルである。神宮山手參道は神宮裏參道工事に結びつき錦織町滋賀農園から境内に至る道路を幅員六メートル五〇に擴張するもの、市邊驛から八日市町境までの道路も幅員六メートル五〇に擴張するのである。米原跨線橋から神照村に至る道路鋪裝は道路幅員八メートル五〇に對し六メートルの鋪裝をなすもの、その延長八キロにおよび長濱、米原間の道路の面目を一新する。尙大溝から安曇川橋に至る鋪裝は幅員六メートル五〇の道路につき五メートル五〇の鋪裝をなすもの、その延長五キロ、八日市大通から御園村飛行場に至るものも幅員六メートルの鋪裝をなすのである。

中國地方

島根縣下縱横に張る林道網の敷設着工

山林島根の資源開發に輪をかけて木材十三萬石の増産を行ふため縣下に林道開發事業三十五萬圓が近く着工されるので、縣では職員を昨年の二倍二十二名に増員、設けにも備へるやう一石二島の成果を目指すとともに従來と異なり増産の關係地域のみならず敷設するもので、一路線の長さもこれまでの制限二キロ以上を撤廢し短長いづれをも問はぬほかに現地主義で各森林組合の事業を優先的に重視し縣管町村事業を後廻しにするといふ徹底ぶりで一町歩につき用材四百五十石、薪炭材二百二十五石以上の森林を開發の對象と定め、縣下約七十路線、總延長六十キロの新しい林道からそれ／＼力強

い開發の斧鉞を加へ目標達成に努める。

廣島縣下難處を避けて新

縣道完成

廣島縣道庄原、福山線深安郡千田村地内より福山市三吉町に至る三千四百二十一メートルの新縣道はこのほど見事竣成二十一日より一般の交通を許した。この新道は備後箱根といはれる交通の難所釜路大峠の險をさけるため昭和十二年九月起工以來二年七ヶ月の日子と十五萬圓の經費を投じて見事出來上つたもので、將來福山と奥備後の産業輸送上大きな利便を齎すものと期待されてゐる。

四 國 地 方

高知縣々道改良鋪裝工事

施行近づく

高知縣に於ける本年度府縣道改良工事並

に鋪裝工事は實施認可を得、總工費十五萬六千圓、うち五萬二千圓の國庫助成金をもつて直に施行のはず、工事内容左の通り、

△府縣道改良—高知、松山線螢橋五丁目間

百六十米擴張、工費五萬四千圓、高知、

德島線、安藝町地内六百四十米、工費五

萬一千圓

△府縣道鋪裝—宿毛、片島港線千七百米、

工費三萬八千圓、高知、德島線高須村地

内千六十米、工費一萬三千圓

臺 灣 地 方

臺灣臺南市の明粧を施し

したる道路の姿

臺南市の道路の美粧は逐年都市計畫事業として漸次擴大され、現在では市内道路の九十五萬三百九十九平方メートルのうちす

で四十四萬九百九十平方メートルが鋪裝され、引續き本年度には新しい美粧代とし

て十三萬一千四百八十七圓が計上されて、後甲—東門線(一千メートル) 線町—開山町二丁目線(四百二十メートル)の道路新設をはじめ、幸町一丁目—開山町二丁目線

(四百二十二メートル) 南門町三丁目—西

本願寺前線(五百二十五メートル) 旭町西

南角—臺南高工前線(九百五十五メートル)

竹園町二丁目—後甲線(六百メートル)の

四線の路面改良が計畫されてゐるほか大灣

道路(一千四百七十メートル)と海岸道路

(一千五百五十メートル)の砂利鋪裝も計畫

され、すでにその一部に着工した。このほ

か本年度からは新しく都計區域内に建築線

を設定、土地區畫整理に關しては昨年度三

分子の一部(約十三甲)を整理したが、本

年度は三分子後甲の一部と大宮町、末廣町

の一部(三千三百餘坪)の整理を行ふこと

となり目下督府に手續をとつてゐる。

X ————— X